

生ごみから元気な野菜づくり 生ごみをためる方法

台所で1～3日分の生ごみをためる方法

☆簡易容器などでためる

- ①フタつきの小さな丸バケツやフタつきのアルミなべ、または写真のような容器を用意し、生ごみ入れ、ボカシ入れとして使用します。写真は、市販の米びつを使用しました。



- ②調理をしながら、水気のない生ごみはそのまま生ごみ入れ容器へ直行。
水気のあるものは、**ざるとボウルなどで水をきってから**生ごみ入れ容器に入れます。
生ごみは、ひと切り多く入れる気持ちで、できるだけ小さくした方が早く分解します。



- ③調理が終わるとボカシをかけて、容器ごとシェイクしたら、生ごみのボカシ和えの出来あがりです。



- ⑤これをそのままプランターや畑の土に混ぜるか、またはさらに貯めておくことができます。

2～4週間分の生ごみを貯める方法

☆専用密閉容器でためる

- ①専用密閉容器を使うと2～4週間分の生ごみが保管できます。
水切りができ、空気が遮断できるので、ボカシに混ぜた生ごみを漬物状態で保管できる
というわけです(嫌気発酵)。週末にしか畑作業ができない人におすすめです。



- ②「台所で1～3日分の生ごみを貯める方法」の要領でボカシを混ぜた生ごみを上にのせていく
だけです。生ごみを入れた後に**全体を混ぜないでください**。



- ③空気が入らないようにフタはキッチリ閉めてください。
表面に白カビが出ているのは良い状態です。
内フタをしてください。



- ④下にたまる液は、液体肥料(液肥)として使えます。
有機物たっぷりの生ごみの汁が微生物の力によって発酵しているものです。
※この液を100～500倍程度に薄めて水やりに使うと、作物が元気になり色つやがよくなります。
また液をそのまま排水溝に流すと臭いやぬめりを微生物が分解してくれます。



- ⑤2～4週間このように貯めた生ごみを、そのままプランターや畑の土に混ぜて土づくりをします。

あとは、「プランターから元気でおいしい野菜の育て方」を参考に土づくりをしてください。
美味しい野菜のためがんばりましょう!!